

<b>授業科目名</b> <b>&lt;英訳&gt;</b>		医療評価・経済評価 Quality and Economic Evaluation in Health Care			<b>担当者所属・</b> <b>職名・氏名</b>		医学研究科 教授 今中 雄一 医学研究科 助教 大坪 徹也 医学研究科 特定講師 猪飼 宏				
<b>配当</b> <b>学年</b>	専門職	<b>単位数</b>	2	<b>開講年度・</b> <b>開講期</b>	2015・ 前期	<b>曜時限</b>	水3	<b>授業</b> <b>形態</b>	講義	<b>使用</b> <b>言語</b>	日本語

### [授業の概要・目的]

#### I. コースの概要

- ・医療評価を支える理論・モデルや、質評価のための主な研究手法を紹介する。医療のプログラム・制度等の効果の評価は、現実的な制約のためにしばしば理想的でない設定で行われるが、その際のバイアスや研究デザインのあり方についても学習する。
- ・医療の質と経済性の評価、医療のプロセスやアウトカムの側面からの質指標の開発・検証、診療パターンのばらつきに関する研究、医療機能評価、医療安全、医療の質改善、情報公開、関連する制度・政策などの課題を取り扱う。
- ・検査・薬剤・治療技術・医療材料・健康政策プログラムなどを適切に選択するために必要な、質や費用の評価とその解釈について、基本的な方法論を学ぶ。
- ・医療技術、薬剤、治療技術、健康に関するプログラムなどの評価研究の実例について、研究の評価方法を学び、批判的な吟味を行う。

### [到達目標]

#### II. 学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること）

- ・医療評価に関する概念や研究方法等について、重要事項を説明できる。
- ・Quasi-Experimental Designの基本について説明できる。医療評価に関するバイアスについて理解している。
- ・治療技術・薬剤・医療材料・検査・健康政策プログラムなどに関する経済分析に用いられる主な研究手法として、費用分析・費用効果分析・費用効用分析・費用便益分析の違いやそれぞれの適応、費用算定・アウトカム測定・時間の概念・割引率・感度分析、増分費用効果比といった中心的な概念を理解して説明でき、分析結果の適切な解釈ができる。
- ・上記を踏まえてこの領域の研究文献を批判的にレビューし、その意義を説明できる。研究プロトコルの作成や研究実施時に、習得した知識・技術を活用できる。

### [授業計画と内容]

#### III. 教育・学習方法

- ・講義形式を主とし、小グループによる演習を通じて理解を深める。

授業日時：水曜日3限

教室：G棟2Fセミナー室A または C/D

第1回 4月8日 医療の質とその評価： 総論+研究デザインとバイアス

第2回 4月15日 経済評価総論 費用効果/効用分析の方法論1

第3回 4月22日※ 費用効果/効用分析の方法論 2

第4回 5月13日 費用効果/効用分析の方法論 3

----- 医療評価・経済評価(2)へ続く ↓ ↓ ↓

## 医療評価・経済評価(2)

- 第5回 5月20日 医療の質の評価法（各論）  
第6回 5月27日※ 医療の質の評価法（各論）＋アウトカム研究・リスク調整  
第7回 6月3日 医療におけるコストの把握  
第8回 6月10日 医療の質の指標化（QI、CI）  
第9回 6月17日 Administrative dataを使った医療評価  
第10回 6月24日※ 経済評価と医療政策 1  
第11回 7月1日 医療評価・経済評価：論文レビュー&討議 1  
第12回 7月8日 医療評価・経済評価：論文レビュー&討議 2  
第13回 7月15日 医療評価・経済評価：論文レビュー&討議 3  
第14回 7月22日 経済評価と医療政策 2  
第15回 7月29日※ 経済評価研究の展望

- \* 医学部生チュートリアル、外部講師他の諸状況により日程変更あり、初回に予定を説明。  
\* ※の日はセミナー室C/Dで行う。

### [履修要件]

前期 MPHコア選択必修（MCR必修）

基礎・応用等レベル：中級

先修・推奨科目等：医療内容の理解を前提とするので、医療に概ね通じていること。

### [成績評価の方法・観点及び達成度]

講義・討論・グループワーク・発表におけるコミットメント（配分30%）、課題レポート・期末などのレポート（配分70%）により、総合的に評価する。

### [教科書]

必須テキスト：なし。最低限必要な資料は講義にて配布する。

推奨テキスト：

Drummond MF, et al. Methods for the Economic Evaluation of Health Care Programmes, 3rd Ed. Oxford, 2005.

Myriam Hunink. Decision Making in Health and Medicine: Integrating Evidence and Values. Cambridge, 2001.

医療制度・医療政策・医療経済（丸善出版,2013）

Handbook of Health Services Research（Springer Science+Business Media）

### [参考書等]

（参考書）

### [授業外学習（予習・復習）等]

授業中に指示する場合があるが、自発的かつ積極的な取り組みを期待する。

----- 医療評価・経済評価(3)へ続く ↓ ↓ ↓

医療評価・経済評価(3)

(その他(オフィスアワー等))

その他メッセージ

- ・医療全般についての基本的な知識を前提に講義を行います。
  - ・経済学の学習経験は問いません。
  - ・当分野では医療の経済性、質・安全・原価の実証研究政策研究、医療の政策や経営に深く関わりたい人を募っています。
- (医療経済学分野：<http://med-econ.umin.ac.jp>)

人間健康科学系専攻学生の受講可否：否

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。